

令和8年度 第5回部長会（概要報告）

- ・ 日 時 令和8年7月31日（水）午前9時00分～
 - ・ 場 所 八尾市役所第2委員会室
 - ・ 出席者 市長・副市長・教育長・病院事業管理者・各部局長・理事等
-

令和8年度 第5回部長会概要記録

日時：令和8年7月31日

午前9時～

場所：8階 第2委員会室

【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。令和8年度の第5回目の部長会にお集まりいただき、大変ご苦労様です。

先日、令和7年度決算を審査していただくために、監査委員に決算書を提出いたしました。令和7年度の一般会計決算は、約16億円の黒字となりました。経常収支比率は96.8%となり、令和6年度より1.7ポイント改善しました。これは、職員の皆さんがコスト意識を持ちながら、予算執行に当たっていただいた成果だと考えています。しかしながら、足元の長引く物価高や予測できない自然災害への備えなど、あらゆる局面に対応するためには、決して楽観視できない状況にあります。

引き続き、改革で生み出した財源をもって、市民最優先の事業を展開したいと考えていますので、今後の実施計画の策定や予算編成に当たっては、事業効果を見極めながら、全事務事業を点検していただくようお願いしておきます。

先週日曜日、八尾空港マラソンが開催されました。200人の募集に1,000人を超える応募があり、遠方は、京都府や和歌山県からも参加されており、注目度の高いイベントとなりました。参加者からは、「滑走路が想像以上に広かった」、「飛行機のまねをして走った」など、親子で楽しみながら、笑顔で走る姿が印象的でした。

朝早くから運営や準備に携わっていただいた職員の皆さんは、本当にお疲れ様でした。魅力創造部を中心に庁内が横連携をしながら、一大イベントに力を尽くしていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。今後も、八尾空港を八尾市の魅力スポットの一つとして、一人でも多くの人に知ってもらい、関係人口の増加につなげるために報道機関への積極的な働きかけなど、幅広い情報発信にも力を入れていただくようお願いしておきます。

今月16日には、国道25号バイパスの早期整備に向けて上京し、財務省と国土交通省へ要望活動を行ってきました。八尾空港西側跡地の活用や八尾富田林線の整備、八尾空港の相乗効果によって、八尾南エリアを新たな都市核として発展させる上で、国道25号バイパスは、極めて重要な役割を果たします。令和8年度は、国の調査予算がつき、バイパス実現に向けた機運を高める絶好の1年だと考えています。これまで、市内外を含めた150の関係団体のうち、約半数の団体へ私が直接、説明にまわっており、先日から庁舎に懸垂幕を掲げています。渋滞解消や防災力向上といった点だけでなく、未来の八尾のまち

づくりという大きな視点で、各部局が連携し、さまざまな機会を通じて市民の皆さんへ周知いただくようお願いしておきます。

先日、熊本では、最大震度7を観測する大地震が発生し、負傷者数が日々増加するなど、被害状況は深刻化しています。この震災への関係機関からの協力要請に対応することはもちろんのこと、本市においても、酷暑期の避難所運営や避難行動要支援者への災害対応、耐震改修の啓発や促進などについて、全職員が今一度、自身の役割を再確認するとともに、市民の皆さんに災害への備えや義援金の設置について情報提供して、協力を求めています。

最後に、酷暑がまだ続きますが、職員の皆さんも体調に十分留意していただき、業務に当たっていただくようお願いし、開会のあいさつとさせていただきます。

案件

1 令和8年度八尾市総合防災訓練

危機管理監

八尾市総合防災訓練は、当市の総合的な防災訓練として、平成7年度から、地域住民・防災関係機関・行政機関が一体となった実働型訓練や、災害対策本部運営訓練などを継続的に実施してきました。

令和7年度は実働型の訓練として刑部小学校区の地区防災計画に基づき、避難所開設等の訓練を実施しました。令和8年度は、災害対策本部設置運営訓練と併せて、久宝寺小学校区地区防災計画に基づく訓練と各避難所の開設訓練を実施する予定です。

詳細については現在、調整中ですが、全庁的な訓練となる予定ですので、よろしくお願いいたします。

1. 日時

令和8年11月22日(日) 午前中

2. 場所

八尾市役所6階大会議室及び市内全指定避難所

3. 参加者

災害対策本部運営に係る職員

避難所開設に係る職員

久宝寺小学校区まちづくり協議会

意見なし

2 大阪880万人訓練について

危機管理監

大阪府による防災訓練として、毎年「大阪880万人訓練」が府内一斉に実施されております。同訓練においては、訓練用の緊急地震速報メール・エリアメールなどで一斉に地震発生情報が発信され、その際に、自分の身の安全を守る行動や、その後、どう行動するかなどを自ら考える契機として位置づけられています。今年度は、9月1日の「防災の日」に実施されます。

本市におきましても府の訓練と合わせて実施いたしますので、ご多忙のところ恐縮ですが、所管施設への周知及び業務に支障のない範囲で当日の訓練行動の実施等にご協力いただきますようお願いいたします。

訓練の詳細につきましては、後日メールでお知らせいたします。ご協力よろしくお願いいたします。

【副教育長】

このような大地震が起こった際に、八尾市として職員の派遣などの対応をしてきたかと思いますが、今回の熊本地震においてそのような動きが市としてあるのかということと、今後、避難所運営など、職員が現地に応援に行くということを検討されているのかを教えてください。

【危機管理監】

現段階で危機管理課に正式な要請はありません。

水道の方は、もうすでに府内の市町村が行っていますが、避難所の運営に関し、大阪府からはそういった情報はありません。

今後どのようになるかはまだ見通しがついていない状況ですので、注意して情報収集にあたっているところです。

3 令和8年度課長補佐昇任考査の実施について

総務部長

それでは、「令和8年度課長補佐昇任考査の実施について」ご報告させていただきます。

本年度の課長補佐昇任考査を、記載の通り実施いたします。「職員昇任考査案内」や受験対象者の名簿等につきましては本会議後に対象の部局長宛に電子メールにて送付いたしますので対象者への周知をお願いします。（対象者名簿等は令和6年度から個人メールへ通知することに変更しており、職員昇任考査案内についても令和8年度から個人メールへ通知することに変更し、当日の机上配布はしない）

なお、課長補佐昇任考査については、事前研修を含め、自己啓発・自己学習の契機となること、また、管理職に昇任するにあたっての自覚を促す手段として効果的であり、人材育成と組織の活性化を図る目的があると考えております。

令和8年度課長補佐昇任考査の日程については記載の通りとなっています。

また、昨年度からの変更点といたしましては、八尾市職員昇任考査要綱において受験資格としていた「係長職に任用されてから5年以上となる者」について、令和8年度の実施より「4年以上となる者」に改正し、職員のキャリア形成の充実や積極的な管理職育成への取り組み等を踏まえた昇任・昇格制度としています。

また、本制度と並行して、職員の人材育成やキャリアデザインに寄与する昇任・昇格制度とするため、係長・主査・副主査への昇任昇格のあり方についても今後見直す予定としております。

各部局長におかれましては、より多くの対象者がチャレンジできるよう十分な周知・勧奨をお願いします。

【政策企画部長】

受験資格として「係長に任用後5年以上となる者」を4年に見直した経過を教えてください。

【総務部長】

今回、若年層の方々に対象者の拡大を行うことで、モチベーションの向上や、組織の活性化につなげてまいりたいと考えているところであり、経験が少なかったとしても、優秀な人材を昇格させたいという思いで今回の取組をさせていただいたところです。